

令和5年6月14日（水）

「真の強さとは・・・」

将棋の藤井聡太さん（20歳）が史上最年少名人、7冠を達成されました。

将棋に詳しい人ではなくても、藤井さんの名前は知っている人が多いでしょう。

さて、今週のタイトルは、「真の強さとは・・・」としました。

藤井さんは、日頃のインタビューなどでも、20歳とは思えないくらいの落ち着きで言葉を選びながら、丁寧に質問に答える姿が印象的です。そんな藤井さんは、自分が勝負に勝っても負けても、常に落ち着いた口調で、自己反省をし、対戦相手に対しての敬意を忘れません。ある意味、凄味すら感じます。大リーグの大谷選手も同じように、自分が取り組むべきことに常に真摯であり、インタビューの姿も決して自分を大きく見せようとする発言はありません。

本当の実力者、真の賢者はとても謙虚だと言われますが、藤井さんや大谷選手を見てると少し分かる気がします。だからこそ、真の強さとは、謙虚さ、探究心、それを実行にうつす行動力などがいくつも関連しているものではないかと考えます。

さて、志布志中の皆さん、自分自身の今の姿を振り返ってみましょう。

何も世界や日本のスーパースターと同じように・・・というわけではありませんが、それぞれの世界で一流となっている人の姿から学ぶことはたくさんありそうです。

ぜひ、志布志中の生徒の皆さんが「真の強さ」を身に付け、人、ものに対して、これまで以上に優しい姿を見たいと私は思っています。

※ 地区総体（中体連）に参加した皆さんへ ※

各競技、精一杯のプレー、本当にお疲れさまでした。

県大会出場を決めた人たちは、ここからまた全力で頑張ってください。

惜しくも敗れ、地区総体をもって部活動を引退する3年生、「真の強さ」を身に付けるチャンスと考え、新しい目標を定め、自己実現に向けて努力してってください。